

# ABC



## 検診

### (胃がんリスク分類)

胃の検診を受けたいけれど、お仕事の都合でなかなか受けられない方、ご自分の胃のリスクを知りたい方、ずっと胃の検診を受けていない方、**血液検査で胃がんのリスク分類ができます。**

**通常の採血に1本プラスするだけです！**  
**ABC検診を受けてみてはいかがでしょうか？**

#### ABC 検診 (胃がんリスク分類) とは？

ABC検診 (胃がんリスク分類) とは、血液検査でピロリ菌に対する抗体と、胃の炎症や萎縮の度合いを反映するペプシノーゲンを測定し、その組み合わせから胃がん発生のリスクを分類し評価する検診です。

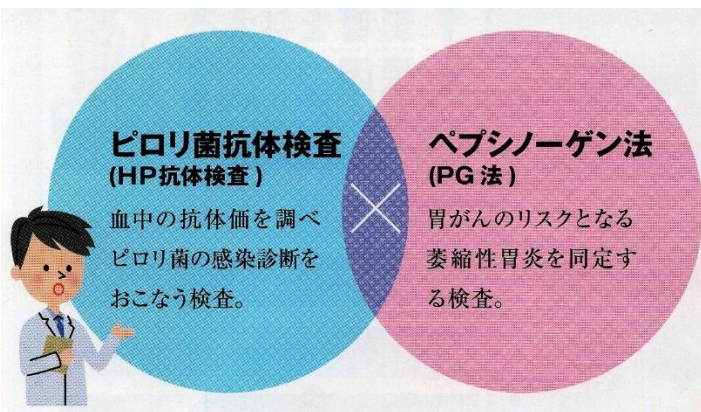
※胃がん発見には画像診断による二次精密検査が必要です。

#### ピロリ菌とは？

ヒトの胃粘膜に棲み、胃の炎症を起こす菌です。通常、胃の中は強い酸性を保ち菌は棲めませんが、ピロリ菌は特殊な酵素 (ウレアーゼ) によってアンモニアを産生し胃酸を中和することで、強い酸性の胃の中でも生息が可能です。

#### ペプシノーゲンとは？

胃粘膜の炎症と萎縮の状態を反映します。ほとんどが胃内に分泌されますが、1%が血中に漏れ出るため、血液検査で萎縮性胃炎を同定することができます。



**要注意！**

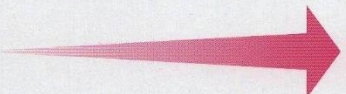
※ABC検診 (胃がんリスク分類) は胃がんを診断する検診ではありません。

ABC検診は現在から将来の胃がんリスクを評価する検診であり、ABC検診で胃がんが見つかるわけではありません。胃がん発見のためには、画像診断による二次精密検査が必要です。

# ABC検診は、胃がんの早期発見につながります。

予防医療としてのがん対策が推進されています。

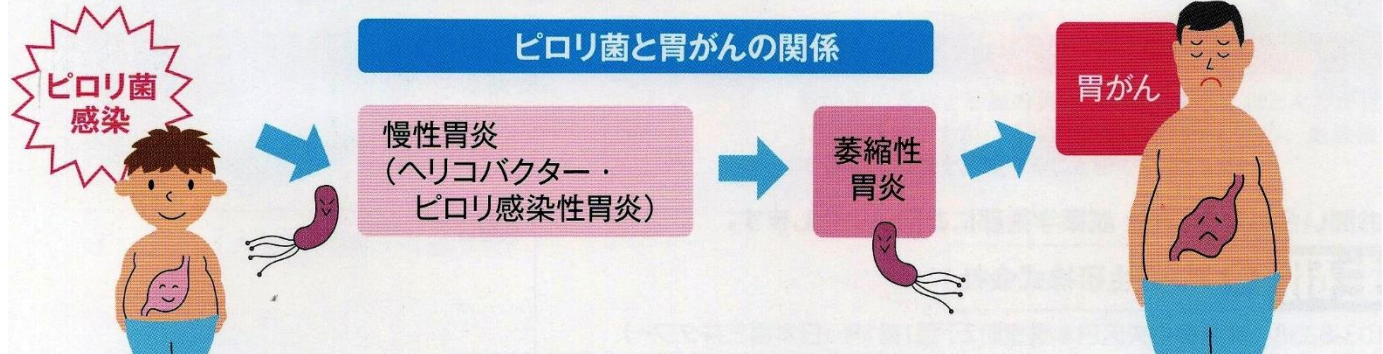
## ABC検診の判定方法

	A群	B群	C群	D群
ピロリ菌抗体検査 (HP抗体検査)	-	+	+	-
ペプシノーゲン法 (PG法)	-	-	+	+
胃がん発生の危険度	低  高			



### MEMO 胃がんの発生にピロリ菌感染の影響あり

1994年に国際がん研究機関(IARC、WHO)はピロリ菌が胃がんの原因であると認定しました。さらに、2014年の勧告では、ピロリ菌の除菌が胃がんの予防になること、そして血清ペプシノーゲンが胃がんのリスクの指標となると認められました。



### ! 影響を与える要因



- ピロリ菌除菌歴がある
- 胃酸を抑える薬を服用している
- 腎機能が低下している
- 免疫抑制剤やステロイド薬を投与している
- 胃を切除する治療を受けた

対象者の方は、申し込み時または受診時にご相談ください。

**検査費用: 5,000円(税別)**

独立行政法人 地域医療機能推進機構  
 下関医療センター 健康管理センター  
 TEL:083-231-7887